



紀宝町長 西田 健

だれもがいいきと地域で暮らせる 社会の実現に向けて

健やかなまちづくりで大切なことは、人と人とのつながりです。「きほう健康ぷらざ」では、そのつながりを大切に、みんなが支え合いながら、持続可能な社会を一緒に育てていきたいと考えています。

現代では、健康に関する悩みが専門的で複雑になることが多いですが、まずは誰かに相談することで、心が少し軽くなることもあります。言葉にできない悩みや、今のサービスでは解決しきれない問題にも、まずは話を聴き、その人の気持ちに寄り添えるコミュニティが必要だと感じています。

今回整備を行った「きほう健康ぷらざ」が、住民間の健康を繋ぐためコミュニティの場として機能し、だれもがいいきと地域で暮らせるための施設として利用されることを願っています。



所在地：紀宝町鵜殿 1190 番地
敷地面積：2562.39㎡
延床面積：839.25㎡
構造：鉄骨平屋建



06



05



04



03



02

01. 旧鵜殿保育の園庭を駐車場に改修しアクセスが便利に。02. 地域保健・訪問看護ステーションの事務所。03. カフェのような飲食・休憩スペースは食べ物などを持ち込むことができます。04. 健康コンシェルジュにいつでも健康相談。05. 飲食・休憩スペースにはだれでも利用できる体組成計などを設置。06. 母子保健施設。

普段使いできる保健・医療・福祉の新拠点

11月1日、健康づくりの拠点施設である「きほう健康ぷらざ」がオープンしました。

この施設は、乳幼児から高齢者までのあらゆる健康課題に対して、柔軟に対応できる体制づくりの強化を図るため、旧鵜殿保育所を改修して整備しました。全国でも数少ない、病院に併設されていない公立の「訪問看護ステーション」のほか、「母子保健施設」、「地域医療研修センター」、「移住定住サポートデスク」を備えています。

また、施設内には、ほかにも個別相談室や休憩室、研修室、飲食スペースも備えており、だれもが気軽に立ち寄り、健康のことをはじめとした相談場所として利用することができます。

この施設は、「在宅医療の充実」、「健康相談の強化」、「健康教育の推進」を目標に、町民同士で健康を支え合い、健康についてともに学び、実践できる場として、活用を図っていきます。

また、施設内には、移住定住サポートデスクをあわ

せて設置しており、空き家に関する相談や、町への移住に関する相談を受け付けています。

この施設は、町民のみなさんや医療・福祉に携わる専門職の方たちが普段使いできる施設としての活用が図られるとともに、町の保健・医療・福祉のさらなる連携体制を推進していきます。

